



証券コード 1981

# 第64期（平成24年3月期） 第2四半期決算のご報告

平成23年12月16日



**株式会社協和日成**

<http://www.kyowa-nissei.co.jp/>

ISO9001:2008 認証登録

## ■ 投資家のみなさまへ

平素より、当社グループの事業に格別なるご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

協和日成グループは、ガス、電気、水といった人々の暮らしや産業に欠かすことのできないライフラインを支える総合設備工事会社です。当社グループは、東京ガスの指定工事会社として東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県の首都圏全域をカバーするとともに、札幌および静岡に支店を設置し、お客さまのご要望にきめ細かく対応させていただいております。

「私たちは常に進化する強い意思を持ち、心一つにして一流に向かい羽ばたき続けます。」というスローガンのもと、安心と心地よさを提供し、豊かな未来のために貢献してまいります。

また、企業の社会的責任の重要性を認識し、コンプライアンス経営に努めると同時に、環境への取り組みにも力を入れ、お客さまにご信頼いただけるパートナーとなるべく、挑戦してまいります。

さて、このたび第64期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の第2四半期累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日）の業績の概況と決算数値が出ましたので、ここにご報告させていただきます。

これからも皆さまのご期待に応え、「安心・安全・信頼される企業グループ」であるべく社業発展に向けてまい進していく所存でございますので、引き続きましてのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社 協和日成

代表取締役社長 北村 眞隆

## ■ 企業スローガン

私たちは常に進化する強い意思を持ち、  
心一つにして一流に向かい羽ばたき続けます。

## ■ コーポレートシンボル



● 青：技術力 ● 緑：環境 ● 赤：情熱

2つの翼は環境と技術力、お客様と協和日成を象徴し、ともにより良い明日に向かって成長してゆく姿と未来に羽ばたくイメージを表現しています。

また、赤い円は情熱とエネルギーを表し、マークは全体として「人」の形を連想させます。常に人々の暮らしを支える協和日成が、社員一人ひとりの力を結集し、新しい時代を切り拓いてゆく姿勢をアピールしています。

## ■ 企業理念

存在意義 『豊かな暮らしのために』

私たちは、安心と心地よさを提供し、豊かな未来のためにライフラインを支え、社会に貢献します。

経営姿勢 『お客様から選ばれ続けるために』

確かな技術と品質でお客様に安心をお届けし、社員が安心して働ける職場環境をつくります。

きめ細やかな感性でお客様の信頼に応え、ひとを尊重しお互いを信頼し合える企業風土をつくります。

行動規範 『羽ばたき続けるために』

私たちは常に感性を磨き、感じ・考え、自ら行動します。

## ■ 企業ビジョン

たゆまぬ研鑽を行い、優れた人間力と高い現場力でサービスを提供する真の総合設備工事会社を目指します。

## ■ 目標とする経営指標

当社は、売上高経常利益率を重視しており、売上高経常利益率3%以上の安定的な達成を目指しております。

## ■ 事業概要

■ 当社グループは、主に東京ガス株式会社のごガス工事業を主体にし、そのほか建築・土木工事業、その他事業を営み、総合設備工事会社として事業活動を展開しております。

### ◎ガス工事業

- \* ガス設備工事  
(屋内配管)
- \* ガス導管工事  
(屋外配管)



### ◎建築・土木工事業

- \* 建築工事
- \* 給排水衛生設備工事
- \* 空気調和設備工事
- \* 内装仕上工事
- \* 電気管路洞道埋設工事
- \* 上下水道工事
- \* 土木工事



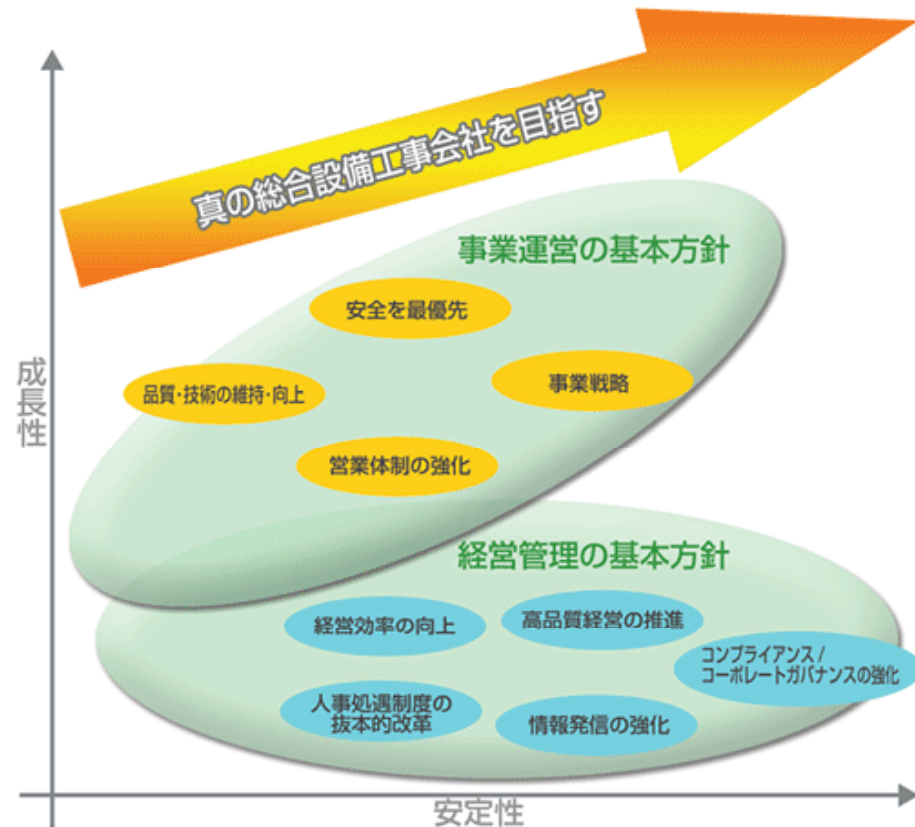
### ◎その他事業

- \* 各種ガス機器販売・  
取付・修理
- \* ガス設備の安全点検
- \* ガス使用量の検針
- \* 収納業務
- \* ガスメーターの  
開閉栓業務



## ■ 中期経営計画『Remake and Step up 2011』について（1）

- 当社では、「たゆまぬ研鑽を行い、優れた人間力と高い現場力でサービスを提供する真の総合設備工事会社を目指します。」の企業ビジョンのもと、2009年度から2011年度における3ヶ年の中期経営計画を策定いたしました。本計画の骨子はガス工事を始めとした公共性の高いインフラ整備の一翼を担う企業であることの強みを活かし、常に変化するお客様のニーズにお応えし、低炭素社会を先取りした環境に優しいエネルギー供給技術によって、高付加価値を提供し、シェアの拡大を図ることです。
- また、会社の力は当社で働く社員力の集積であり、社員一人ひとりがさらにその能力を発揮できる環境を整え、一步ずつStep upしていくことです。



## ■ 中期経営計画『Remake and Step up 2011』について (2)

### ■ 事業運営の基本方針

安全を最優先にした  
事業運営を目指す

\* 人命に関わる仕事をしていることを自覚し、「絶対に事故は起こさない・起こさせない」の信念のもと、安全を最優先に考え「現場を一流に仕上げる」ことを目指す。

品質・技術の  
維持・向上に努める

\* 「よい品質は無言の宣伝」を念頭に置き、品質・技術の維持・向上に努め、お客様からの期待に応え信頼を築く。

全社横断的な  
営業体制の強化

\* 絶えず変化する社会やお客様のニーズの多様化に加え、より厳しさを増す価格競争の激化に勝ち抜くために、既存の概念にとらわれることなく、柔軟に対応できる提案力・コスト競争力の強化を図る。

事業戦略

\* 既存事業の深耕拡大（地域の拡大、既存エリアのシェアアップ）  
\* 新しいビジネスモデルの構築  
\* 経営資源の再配分

## ■ 中期経営計画『Remake and Step up 2011』について (3)

### ■ 経営管理の基本方針

#### 高品質経営の推進

- \* お客さま、従業員、協力会社、株主。地域社会をはじめとするすべてのステークホルダーから信頼され選ばれ続けるため、高品質経営を推進し、企業価値向上と持続的成長を目指す。
- \* 高品質経営を推進するために、役員および全社員が誠実性と高い倫理観を持ち、かつ柔軟な感性と情熱で業務を遂行し、自己に課せられた役割を十二分に果たせるよう自己研鑽する。
- \* 全社員が「会社が掲げる方向性」を共通認識として持ち、一体感とやりがい、当社で働くことに対する喜びと誇りをもてる企業風土をつくる。

#### コンプライアンス/ コーポレートガバナンス の強化

- \* 高品質経営に繋がるコンプライアンス体制、リスク管理体制、内部統制の構築を更に推進する。

#### 情報発信の強化

- \* IRを強化し、積極的に情報開示を行なうことによって透明性の高い経営を目指すとともに、企業イメージの向上を図る。

#### 経営効率の向上

- \* 健全な財務体質を維持しつつ、協和日成グループの効率的な連結経営を目指す。
- \* 事業環境・社内環境に対応した組織・人員配置の最適化を目指す。

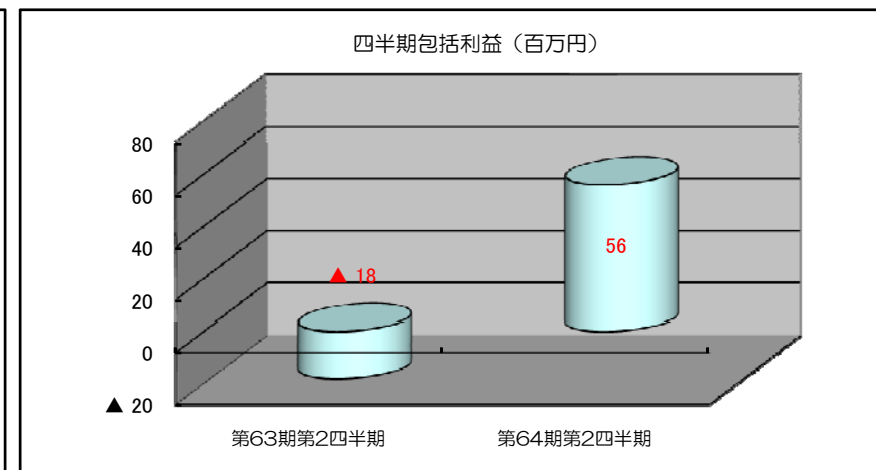
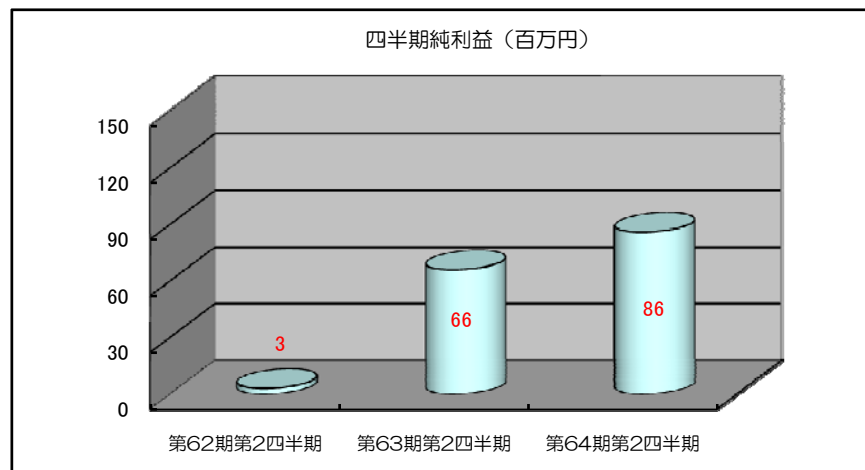
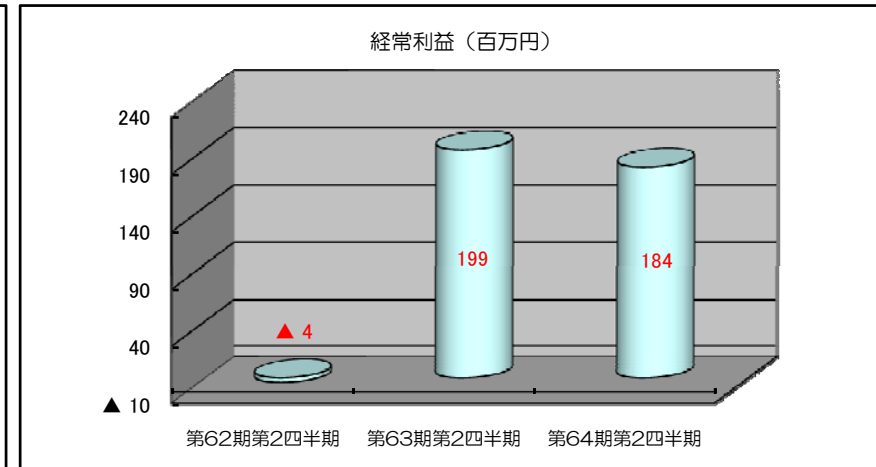
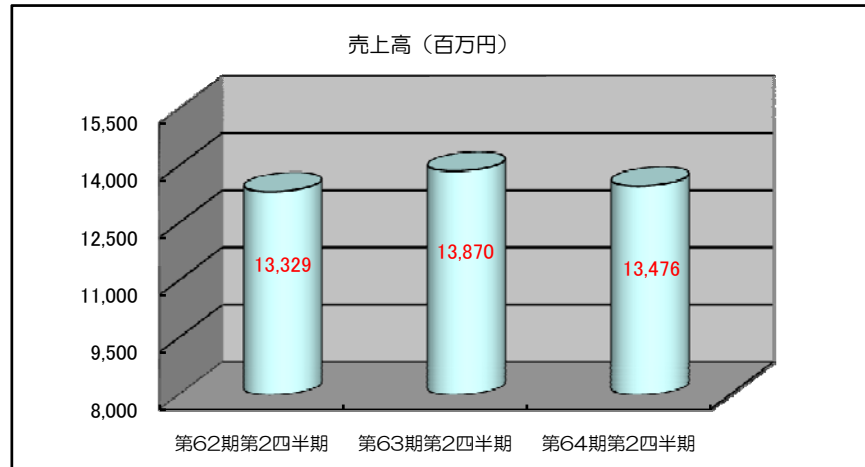
#### 人事処遇制度の 抜本的改革

- \* 人材の確保に向けた施策の強化を図る。
- \* 人材育成制度および活性化策の根本的な改革を図る。

## ■ 業績等の概要

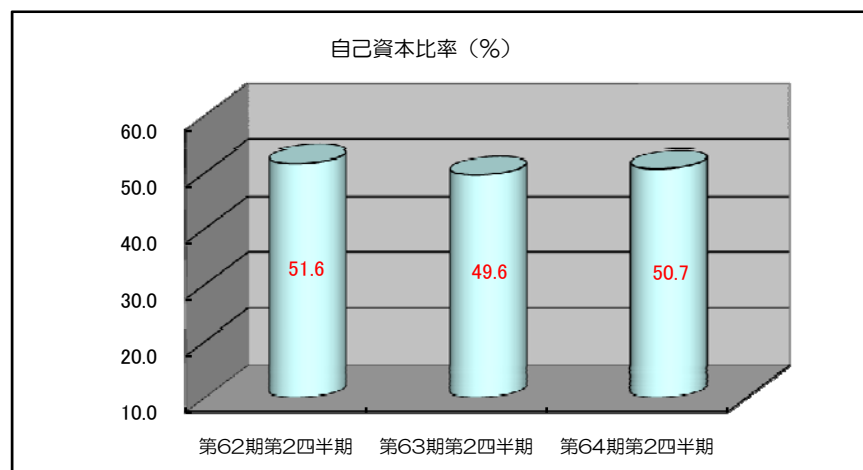
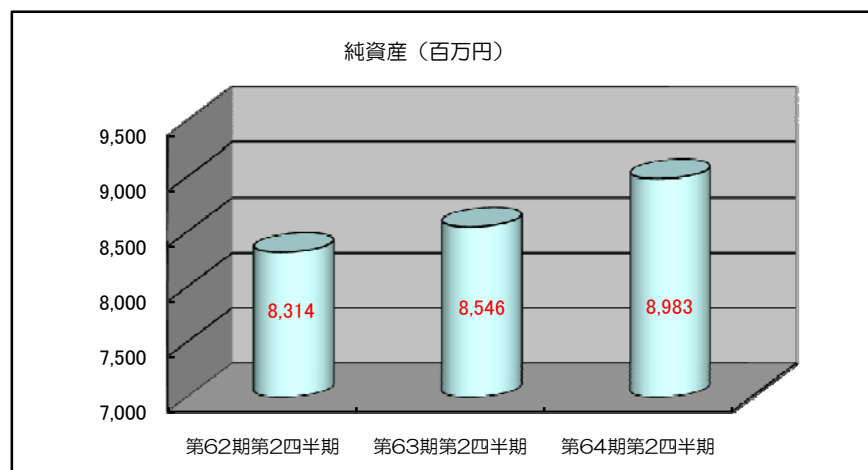
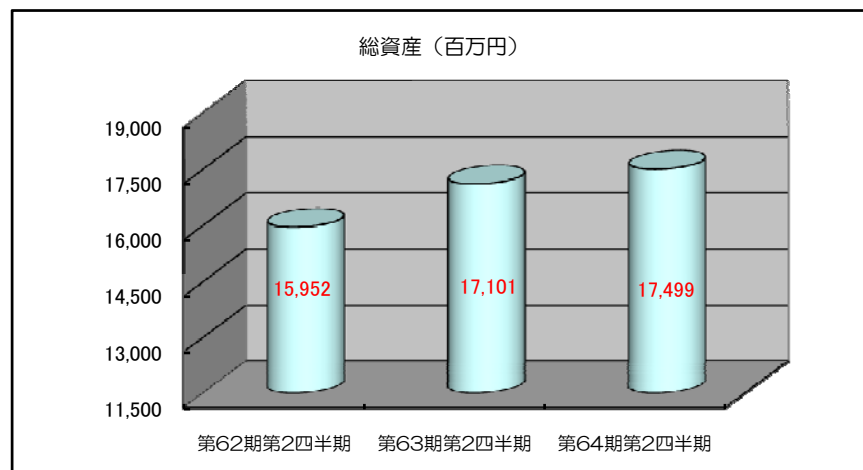
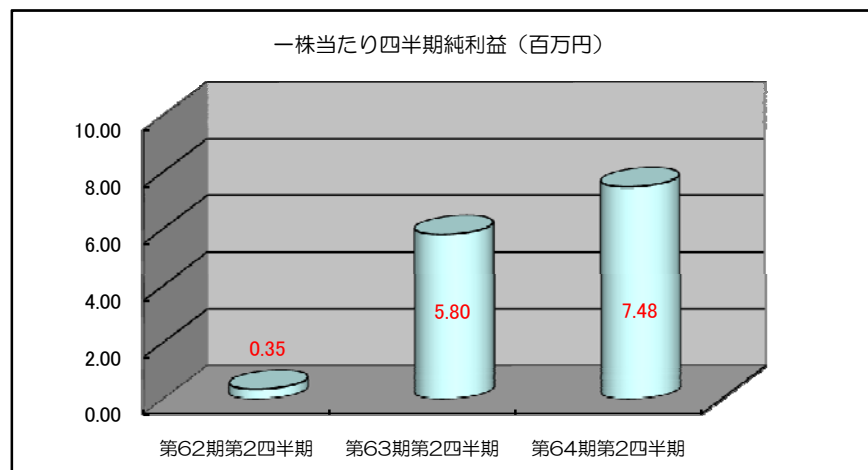
- 当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災の影響により大打撃を受けた製品や部品供給網の復旧が急速に進んだことに加え、復興需要も本格的な動きを見せ始め、経済状況は徐々に回復の兆しが見受けられますが、未だ収束の目途が立たない福島第一原子力発電所の事故に加え、米国経済の低迷や欧州の信用不安に起因した円高の長期化に伴い生産拠点を海外に移転する動きが加速されることによる産業の空洞化懸念、依然として高水準で推移している失業率や不安定な雇用情勢、復興増税の導入など国内の景気動向は依然として先行き不透明な状況が続いております。
- このような経済環境のもと当社グループにおきましては、ガス工事事業に伴う受注は概ね堅調に推移いたしましたが、集合住宅については前期からの繰越案件が減少し、当期受注分の完成は当第3四半期以降へと繰越すこととなりました。また、建築土木工事事業については、期初よりの厳しい受注環境が続く中、新規受注は徐々に回復しておりますが、当第2四半期では完成に至りませんでした。
- この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は13,476百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益143百万円（前年同期比42.3%増）、経常利益184百万円（前年同期比7.6%減）、四半期純利益86百万円（前年同期比28.9%増）となりました。

## ■ 財務ハイライト (1)



(注) 第62期の包括利益は記載していません。

## ■ 財務ハイライト (2)



## ■ セグメント情報（1）

### ■ ガス工事業

東京ガス株式会社および他ガス事業者の設備投資計画による受注は好調に推移いたしました。また、新築戸建住宅を始めとし、集合住宅給湯・暖房工事や空調工事の受注についても好調に推移いたしました。集合住宅については当第2四半期における完成物件は減少いたしました。

この結果、売上高10,871百万円（前年同期比0.9%減）、経常利益299百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

### ■ 建築・土木工事業

電力ケーブル関連保守工事は堅調を維持いたしました。新築建物に関連した給排水衛生設備工事や工場施設関連の営繕工事、ゴルフ場等のイリゲーション工事（緑化散水設備工事）の受注は当第1四半期以降概ね堅調に推移したものの、当第2四半期において完成には至りませんでした。また、東京電力株式会社からの発注に伴う管路埋設工事の受注については、東日本大震災の影響により大きく減少いたしました。

この結果、売上高は1,178百万円（前年同期比27.0%減）、経常損失65百万円（前年同期は0百万円の経常損失）となりました。

## ■ セグメント情報 (2)

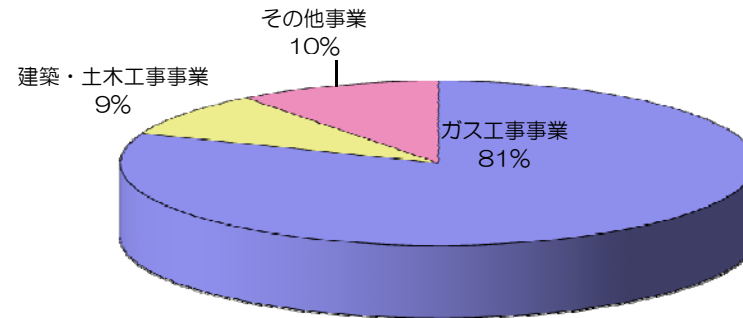
### ■ その他事業

エネリア静岡東においては、一般ガス機器販売が微減となりましたが、リフォーム工事は堅調に推移いたしました。また、東京ガスライフバル西むさしにおいては、季節物商品の販売は伸び悩みましたが、バリューリースを切り口としたビルトインコンロやエコジョーズ等環境対応型機器の販売が好調に推移したことに加え、最重要戦略機種としているエネファームの成約も順調に推移いたしました。

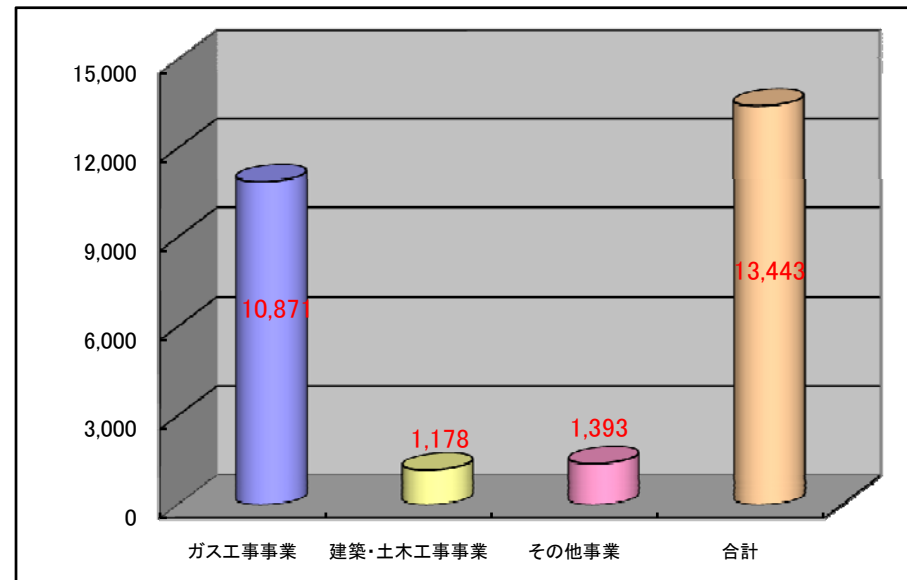
この結果、売上高は1,393百万円（前年同期比10.0%増）、経常損失28百万円（前年同期は96百万円の経常損失）となりました。

## ■ セグメント別売上高構成比と売上高

### セグメント別売上高構成比



### セグメント別売上高（百万円）



(注) セグメント別売上高構成比およびセグメント別売上高には調整額33百万円は含んでおりません。

## ■ 第64期 連結貸借対照表 (要旨)

### 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第63期 (平成22年9月30日)	第64期 (平成23年9月30日)	科 目	第63期 (平成22年9月30日)	第64期 (平成23年9月30日)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	12,789	12,920	流動負債	7,252	7,161
固定資産	4,311	4,578	固定負債	1,301	1,354
有形固定資産	1,882	1,812	負債合計	8,554	8,515
無形固定資産	174	161	(純資産の部)		
投資その他の資産	2,255	2,603	株主資本	8,470	8,861
			資本金	590	590
			資本剰余金	1	1
			利益剰余金	7,911	8,303
			自己株式	△ 33	△ 33
			評価・換算差額等	13	8
			少数株主持分	62	113
			純資産合計	8,546	8,983
資産合計	17,101	17,499	負債純資産合計	17,101	17,499

## ■ 第64期 連結損益計算書 (要旨)

### 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第63期 (自 平成22年4月 1日 至 平成22年9月30日)	第64期 (自 平成23年4月 1日 至 平成23年9月30日)
売上高	13,870	13,476
売上原価	12,301	11,854
売上総利益	1,568	1,621
販売費及び一般管理費	1,467	1,478
営業利益	100	143
営業外収益	107	64
営業外費用	9	23
経常利益	199	184
特別利益	45	-
特別損失	105	0
税引前四半期純利益	140	183
四半期純利益	66	86

## ■ 対処すべき課題について（1）

- 当社グループを取り巻く中長期的な事業環境は、比較的良好な事業分野と競争力を強化すべき分野に大別されると考えております。ガス事業者の設備投資計画に伴う工事の受注は当面堅調に推移することが見込まれる一方、新築住宅分野においては、少子高齢化による世帯数の絶対的な減少や住宅の長寿命化に伴い、住宅着工戸数はほぼ横ばいで推移することが予想されており、ガス設備新設工事や給排水衛生設備工事分野は厳しい受注環境が続くものと思われます。
- このような事業環境において、当社グループが目指している真の『総合設備工事会社』となるためには、当社グループの事業活動における基本ともいえる安全品質・工事品質・サービス品質を高め、ブランド価値の向上を図るとともに、企業集団として社会的使命を果たし、すべてのステークホルダーから信頼され選ばれ続ける企業となることが重要であると認識しております。
- そのためには、コンプライアンス精神に裏打ちされた企業風土、人間力、技術力により社会やお客様のニーズを的確にとらえ、ご満足いただける体制を整備することが必要であると考えております。
- 当面堅調であることが予想されるガス事業者の設備投資計画による工事については、「現場を一流に仕上げる」ための教育訓練を充実するとともに、情報の共有と適正な判断による基本作業の徹底を組織的に実施する体制を構築し、施工品質・保安レベルのさらなる向上を図ることがお客様からより深く信頼していただけることとなり、安定的な受注の確保につながるものと考えております。

## ■ 対処すべき課題について（2）

- 新築住宅分野におきましても、高齢者向け住宅の建替需要や省エネルギーを目的としたリフォーム工事は増加することが予想され、同時に環境配慮型住宅の普及も促進されるものと思われまますので、エネファーム・エコウィルと太陽光発電を組み合わせたダブル発電、太陽熱利用システムなどの環境負荷低減システムなど高付加価値商品を提供できる体制の強化や戸建住宅を対象としたガス・給排水衛生設備工事の一体施工による生産性の向上を実践してまいります。
- 次に、新規ガス事業者の開拓、他燃料から都市ガスへの切替工事の推進、既築建物におけるリノベーション工事（雑排水管ライニング工事を含めた改修工事）やイリゲーション工事（緑化散水設備工事）などの既存事業における市場拡大も取り組むべき大きな課題であると考えており、営業と施工の連携強化、要員シフトや経営資源の再配分等の施策を実施していくことで課題に対処してまいりたいと思います。
- また、国際会計基準の導入を視野に入れた準備や長期的な経営基盤の強化と成長を遂げるための重要な戦略として、新たな事業領域への展開についても本格的な検討に入るための体制を整備することとしております。
- さらに本年は、事業運営の基本方針として安全・品質・技術を重点に置き、経営管理の基本方針としてコンプライアンス・リスク管理・内部統制を柱とした3カ年の中期経営計画の最終年度となりますが、今後につきましても、それぞれの施策を着実に実施していくとともに、経済、環境、社会の側面をとらえつつ「安心・安全・信頼される企業グループ」として社業発展にまい進していく所存でございますので、株主の皆様におかれましては、引き続きましてのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ■ 業績予想について

- 平成24年3月期の第2四半期連結累計期間の連結業績は平成23年5月18日付の「平成23年3月期 決算短信」で発表いたしました予想と近似値で推移しているため、平成24年3月期の連結業績予想につきましては「平成23年3月期 決算短信」で発表いたしました予想に変更はありません。

平成24年3月期（第64期）の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
通 期	32,500	680	730	380	32	99

※上記に記載されている予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素が含まれております。実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想と異なる場合があります。

## ■ 配当予想について

- 当社は、株主の皆様に対する適正な利益還元を経営の最重要政策の一つとして認識しており、長期的な経営基盤の強化に留意しつつ、経済状況や今後の事業展開を含めた経営環境を総合的に勘案のうえ、安定的かつ継続的に配当を実施していくことを基本方針としております。
- 上記の方針に基づき、鋭意検討した結果、当期および次期の配当につきましては、下表のとおりを予定しております。

配当の状況

基準日	1株当たり配当金					配当金総額 (年間) 百万円	配当性向 (連結) %	純資産配当率 (連結) %
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	年 間			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
第62期	- -	- -	- -	7 50	7 50	86	28.1	1.0
第63期	- -	- -	- -	7 50	7 50	86	18.8	1.0
第64期 (予想)	- -	- -	- -	7 50	7 50		22.7	

## ■ 概要

- 商号 株式会社 協和日成 (KYOWANISSEI CO.,LTD.)
- 所在地 東京都渋谷区神南1-8-10 〒150-0041
- 電話 03 (3464) 0121 (代表)
- 資本金 5億9千万円
- 事業目的
  1. ガス屋内外配管工事の設計施工管理
  2. 空気調和（温水式床暖房および一般冷暖房）設備工事の設計施工管理
  3. 給排水配管・衛生・給湯・消防・機械設備工事の設計施工管理
  4. 上、下水道・電気管路洞道・舗装・土木工事の設計施工管理
  5. 工場各種配管設備工事の設計施工管理
  6. 建築工事および電気工事の設計施工管理
  7. ガス機器・空調機器・給排水衛生設備機器の仕入れ販売ならびに保守管理業務
  8. 家庭用、業務用電気機器および通信機器の販売
  9. 業務用、家庭用家具の設計・製作・販売
  10. 内装仕上工事の設計施工
  11. 展示場等の什器・備品のリース
  12. 建築用資材の販売
  13. 造園工事
  14. 塗装工事
  15. 不動産の売買、交換または賃貸借の代理または媒介する事業
  16. 損害保険の代理業務
  17. 産業廃棄物の収集運搬業
  18. 郵便切手類の販売業務および印紙の売りさばき業務ならびに郵便小包（ゆうパック）の取次業務
  19. 電力販売の取次代理店業務
  20. 特定労働者派遣事業
  21. 前各号に付帯関連する一切の事業

株式会社 協和日成  
| S O 9 0 0 1 : 2 0 0 8 認 証 登 録

〒150-0041  
東京都渋谷区神南1-8-10  
TEL 03 (3464) 0121 (代表)



ホームページURL <http://www.kyowa-nissei.co.jp/>  
(銘柄名：協和日成 証券コード：1981)

お問い合わせは [ir@kyowa-nissei.co.jp](mailto:ir@kyowa-nissei.co.jp) までお願いいたします

本資料は、当社の財務・経営等に関する情報提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料に記載されております業績の見通しや計画などのうち、歴史的事実に基づかないものについては、将来の業績に関連する見通しが含まれております。従いまして、経済環境や業界動向により数値等が変動する可能性を含んでおり、現時点において入手可能な情報に基づいた予測であるため、これらだけに依拠して投資判断を下すことはお控えいただきますようお願い申し上げます。